



P2～3 令和6年度 一般会計決算
P4 決算特別委員会質疑
令和6年度 決算審査報告
P5～9 令和7年度 第5回定例会
一般質問 6名9件

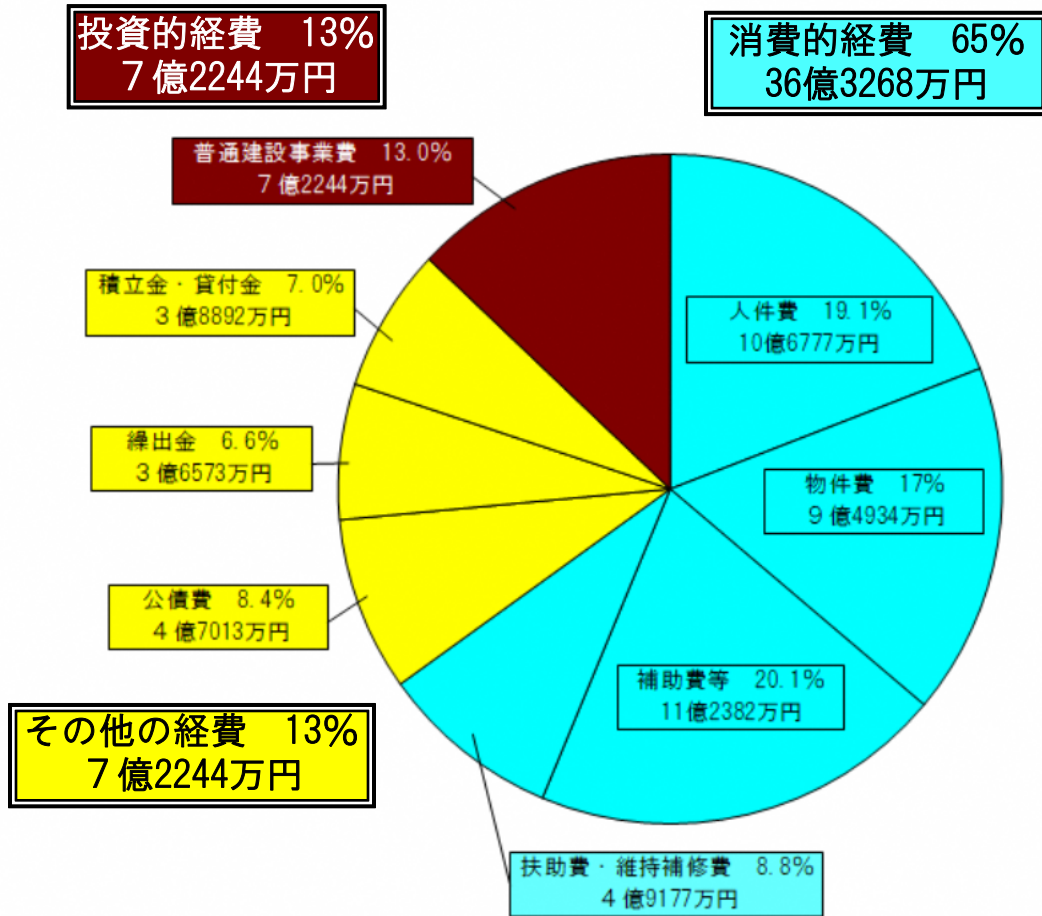
P10 全員協議会
P11 政策要望書をまちへ提出
P12 この人に聞く
えりも町職員 保健師
北村 穂乃佳 (きたむら ほのか) さん

えりも中学校、全校生徒で集合写真

「OVER THE TOP ～勝利を掴む青春の今～」のスローガンのもと「えりも中学校躍動祭」が、9月26日に開催されました。各学年、垂れ幕・貼り絵・行灯を作成。灯台公園までの行灯行列は、多くの町民で賑わいました。

令和6年度 **歳出** 55億7990万円 前年度比 9927万円の増

9月18日から2日間にわたり開かれた第5回定例会では、令和6年度一般会計決算、および4特別会計、2企業会計7件を審議し、すべて原案通り認定しました。



歳出のあらまし
一般会計の歳出は、前年度と比較し9927万円の増となっている。
増加の主な要因は、人件費で7566万円、物件費で6568万円、補助費で1億6170万円増加しているが、これらの主なものはふるさと納税返礼品等に係るものである。また、普通建設事業費で1億816万円が減少しているが、えりも小学校給食施設増築、えりも岬水産物荷捌施設事業や新型コロナ関連等の事業完了によるものが主である。

令和6年度 ふるさと納税寄付金 前年度比 1億9208万円の増

○ふるさと納税寄付金の推移(過去3年)

年 度	寄付金額	経 費	差 引
令和6年度	6億1374万円	3億 89万円	3億1285万円
令和5年度	4億2166万円	2億 969万円	2億1197万円
令和4年度	4億3741万円	2億4485万円	1億9256万円

○積立金の状況と地方債発行残高の状況(過去3年)

年 度	積 立 金	地方債発行残高費
令和6年度	34億9499万円	50億8850万円
令和5年度	34億1744万円	51億6675万円
令和4年度	34億4537万円	52億6414万円

令和6年度歳入 56億8442万円 前年度比 1億538万円の増

自主財源 31%
17億6257万円

寄付金・繰入金・繰越金 18.1%
10億2941万円

諸収入 1.7%
9792万円

分担金・負担金・財産収入 1.5%
8466万円

使用料・手数料 2.1%
1億1893万円

町税 7.6%
4億3165万円

交付金 3.8%
2億1905万円

町債 6.5%
3億6705万円

依存財源 69%
39億2185万円

道支出金 3.9%
2億2392万円

国庫支出金 7.3%
4億1299万円

地方交付税 47.5%
26億9883万円

決算特別委員会の委員長は
大坂庄吉議員
が務めました



● 決算総括表

会計区分	歳入	歳出	差引残高
一般会計	56億8442万円	55億7990万円	1億452万円
国民健康保険特別会計	8億7658万円	8億7416万円	242万円
診療所特別会計	4億7133万円	4億6955万円	178万円
介護保険特別会計	5億494万円	4億9747万円	747万円
後期高齢者医療特別会計	7698万円	7593万円	105万円
小計	19億2983万円	19億1711万円	1272万円
総計	76億1425万円	74億9701万円	1億1724万円

○ 公営企業会計

公営企業会計	歳入	歳出	差引残高
簡易水道事業	1億4206万円	1億4205万円	1万円
下水道事業	1億6277万円	1億6120万円	157万円
合計	3億483万円	3億325万円	158万円

歳入のあらまし

一般会計の歳入は、前年度と比較し1億538万円の増となっている。

主な収入増としては、地方特例交付税1711万円、地方交付税6497万円、寄付金2億1042万円（内ふるさと納税1億9357万円）である。

減少しているのは、国庫支出金で3518万円、道支出金1億4095万円、町債749万円である。

この減少の要因は、えりも岬水産物荷捌施設事業終了による道支出金等の減によるものである。

令和6年度

《質疑内容を抜粋し掲載》

決算特別委員会 質疑

有害鳥獣駆除

質疑（橋本）

クマ駆除の報奨金は適切か。

答弁（産業振興課長）

クマの報奨金は3万円だが、他町の動向を見て改定を検討したい。

ごみ処理の対応

質疑（橋本）

ごみの運搬を近隣町へ行っているが、運搬実績とごみ減量化に対する方策は。

答弁（町民生活課長）

燃やせるごみの近隣町への運搬割合は、様似町4割、広尾町6割となっている。
4～8月の重量削減率は10～15%で、ホームページやチラシ等での周知の効果の表れと思う。

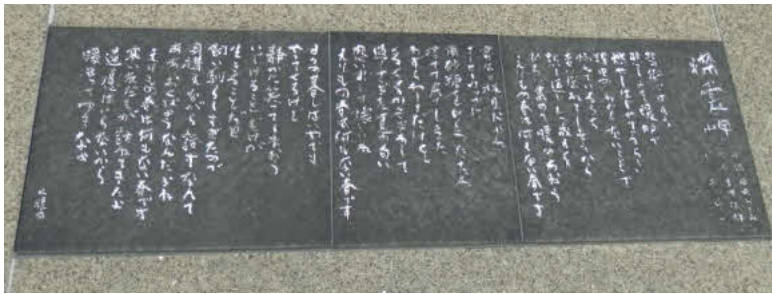
歌碑の整備

質疑（竹内）

襟裳岬展望台にある「襟裳岬」の歌碑の文字が薄くなっているが対応は。

答弁（産業振興課長）

来年度予算で実施したい。



「えりもの春は何もない春」と森進一が唄った「襟裳岬」の歌碑。文字が薄れている。

防犯カメラ

質疑（大場）

灯台公園に防犯カメラの設置を提案していたがどうなったか。

答弁（産業振興課長）

今年度の設置はできなかったが、来年度に向け前向きに検討する。

診療所外来収入

質疑（高松）

外来患者数は1年間で236名増加しているのに対し、収入額が1400万円ほど減少しているが、その原因と対策は。

答弁（診療所事務長）

昨年6月の診療報酬改定による減額や、新型コロナウイルスの助成金終了による影響が大きい。
来年の診療報酬改定に向け、医療界は診療報酬の増額を国に要望している。

えりも町監査委員 小関 孝雄
えりも町監査委員 上野 陽司

監査委員、決算審査結果を報告

○財政の推移及び収支の状況

《決算審査意見書の中から一部抜粋し掲載》

令和6年度の決算額は、前年に比べて歳入1.9%、歳出1.8%がそれぞれ増加している。
要因として、歳入は、ふるさと納税寄付金額等の増、歳出は、目黒地区緊急避難施設整備などのほか、えりも港のイワシ大量漂着に係る処理費用等の臨時的な支出の影響もある。

○収入未済額について

令和6年度末の収入未済額は9186万円であり、前年度と比較すると738万円、7.4%の減となった。
また、各特別会計を含めた収入未済額は2億423万円であり、2726万円、11.8%の減となっている。
※収入未済額とは、予定される収入金額のうち、期限までに納入されなかった金額

○総括

当町の人口は4000人を切り、さらに高齢化も進んでいく中で、町税を始めとした町の収入の減少と、医療・介護・福祉の費用が上昇していくことが予想される。様々な町民要望や行政課題が増大する中であるが、限られた財源を効率的、効果的に活用し、それらの課題に向けて、適切な行財政運営に努めていきたい。



9月18・19日
第5回定例会

補正予算

◎令和7年度
一般会計（歳出）

・保健衛生費

100万円
带状疱疹の予防接種者が見込
みよりも多いため予算を追加

163万8千円

新型コロナウイルスワクチン
定期接種料で65歳以上の方に
7800円までを助成（65歳
以上で生活保護受給者の方は
全額助成）

・学校給食費補助金

444万8千円

国が推奨する小中学生の保護
者負担軽減のため「えりも小
中合同」及び「笛舞小学校」
給食運営委員会への補助金

人事

・えりも町教育長の選任

本町
川上 松美（74）
再任

一般質問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。



なかのきみひろ
中野公浩議員

問 斎場にエアコンの設置を

答 来年度の設置を検討する

【中野】 近年の温暖化により斎場内は室温が高くなりやすい。斎場を利用される多くの方からエアコン設置を望む声がある。斎場内の暑さ対策と

してエアコンを設置することが最適ではないか。町の見解を伺う。

【答弁】 気象庁の観測地点となつていて襟裳岬のデータでは2022年以降、年間平均気温は上昇し続けており、今年8月の平均気温は統計開始以降最高を記録している。

新浜地区えりも斎場の奥まつた立地を考慮すると付近は更に高温になつていると推測される。

えりも斎場は建設当初から空調設備は設置していない。室内の暑さ対策としては、現在和室2部屋とロビーに各1台ずつ、合計3台の扇風機を置いている。近年の気温状況の変化を鑑みると、扇風機では限界があるため、来年度のエアコン設置に向け前向きに検討する。

近年の気温状況の変化を鑑みると、扇風機



夏期間は室温が上昇するため改善が求められる「えりも斎場」



さ な お き
嵯峨直樹議員

問 津波避難の対応は

答 初動の課題を 速やかに検討する

【嵯峨】 7月30日、カムチャツカ半島付近の地震が起因となる津波警報が発令され、最終避難所のえりも高校へ向かった。

避難する車を高校職員が誘導していたが、役場職員が誰もいない状態であり、避難道路として開通した高校通

り線の状況を確認すべきであったと思う。
警報発生時の指揮系統は。

【答弁】 津波注意報が発表されると同時に企画課、建設水道課、産業振興課の職員による第1非常配備体制をとり、津波情報等の収集に当たった。

その後、警報の発表とともに、町の災害対策本部を設置し本部会議を開催、町内全域に避難指示及び各地区での避難所の開設を決定した。

【嵯峨】 初動においての課題は。

【答弁】 ①本町地区では福祉センターのみを避難所として公表したが、えりも高校も選定すべきであった。

②道路の渋滞や駐車場の混雑への対策。

③避難所等の暑さ対策。

④自治会や自主防災組

織等との連携強化や避難所開設訓練の実施。

⑤備蓄品の管理方法と配置の再検討。

⑥避難所以外の避難者の状況把握。

⑦災害対策本部をえりも高校に移動した場合の「Ｌアラート」入力環境の整備及び訓練。

⑧災害時における各職員の初動業務の再確認。

⑨国道、道道の通行止めの周知。

⑩正しい避難行動のために広報紙等による津波避難などに関する啓発活動の実施。

このような課題があり、対応を速やかに検討する。



保育所バスのほか多くの車・人が避難したえりも高校駐車場

問 「自主防災組織」 設立の推進を

答 各自治会長に 結成をお願いする



う え の よ う じ
上野陽司議員

【上野】 7月30日、カムチャツカ半島付近の地震により、津波注意報のちに警報が発令され、町民や観光客が避難所等に避難することになった。

近浦地区では、近くの高台が避難場所に指

定されているが、避難する人や車を誘導する体制が不十分であり、また、役場や消防との連絡体制も整っていないかった。

今回の避難を経験し、特に町の中心部から遠い地区では「自主防災組織」設立が必要であると改めて感じた。

町は、自治会組織が運営主体となる「自主防災組織」設立を推進しているが、現在の設立状況と今後の対応は。

【答弁】 災害時に職員の配置が難しい地区については、地域の方々にお願いして、避難所開設や運営等をスムーズに行えるよう、避難所マニュアルの改訂を早期に行うたうえで、避難所開設訓練を実施するなど、自治会等との連携強化を図っていききたい。



避難所として設置されているプレハブ。左側の道は高台へと続く

「自主防災組織」は現時点で、あけぼの自治会（97世帯）、歌別第1自治会（30世帯）、歌別第2自治会（20世帯）の3団体（計147世帯）にとどまっている状況である。

町としてはさまざまな機会を通じて、自治会を単位とする「自主防災組織」の結成に向けて、推進していきたいと考えており、10月開催の自治会長会議においても改めて結成のお願いをする予定である。



おお ばふみひろ
大場文裕議員

町民体育館へ 大型扇風機の導入を 体育館内の環境改善のため 導入を検討する

【大場】 冷涼と言わ
れていたえりもの夏も
年々暑さを増し、今年
は体育館内の室温が30
度を超え、湿度も70%
以上ある日が度々続い

たとの報告を受けた。
現在、町民体育館と
歌別第2体育館に、工
業用の扇風機がそれぞ
れ1台ずつ設置されて
いるが、体育館利用者
の暑さ対策には、1台
の扇風機と窓の開放だ
けでは限界があるため
大型扇風機を導入して
はどうか。
夏場の災害時の避難
所での活用など、様々
な用途での利用も考え
られる。
利用者の安全確保を
最優先とする観点から
来年の夏にむけ複数台
の大型扇風機の導入を
要望する。

【答弁】 町民体育館の暑

さへの対応や熱
中症対策として
は、利用者から
の要望も踏まえ、
競技種目に支障
のないサイズの
工業用大型扇風
機を町民体育館
と歌別第2体育
館にそれぞれ1
台設置している。
また、ギャラリ側
のすべての窓に網戸を
付け、風の通りを更に
良くするため、今年度
はえりも小学校側の窓
2か所に網戸を設置し
た。
しかし、町民体育館
の窓は全体的に腐食が
進んでおり、開閉が困
難なため修理を要する
状況だとわかった。
利用者の安全確保と、
近年多発する自然災害
発生時の指定緊急避難
場所として使用される
施設でもあることから
大型扇風機の導入を含
め、体育館内の環境改
善に向け検討を進めた
い。



えりも高校に2台導入されてい
る大型扇風機（左側）

町としての今後の物価高対策は 国の動向に合わせて 慎重に検討する

【大場】 2022年
以降、原材料の高騰、
円安、光熱費の上昇、
人手不足による物流費・
人件費の高騰などを背
景に食料品価格は継続
的に上昇している。
9月以降も、調味料、
加工食品、菓子類を中
心に1422品目の値

上げが予定さ
れており、2
025年全体
での値上げ品
目数は2万品
目を超える見
込みで、長期
化する物価高
騰は、今後も
町民の生活や
事業経営に深
刻な影響を与
える予想さ
れる。
町民が安心
して暮らせる
よう町として
どのような物
価高対策を講
じていくのか。

【答弁】 長引く物価高騰



値上がりを繰り返す食料品。長
く続く物価高騰により家計への
負担が日々増している。

るが、現時点では国の
新たな給付事業等の確
定情報はなく、町独自
に物価高対策を実施す
るには財源の問題もあ
ることから、国や近隣
町の動向を注視しつつ、
財政状況も見極めなが
ら慎重に検討したい。

現在も物価高騰によ
り家計への影響が生じ
ているのは認識してい



おおさかしょうきち
大坂庄吉議員

問 百人浜エリアの観光振興は

答 緑化事業の地域も含めた PRを検討する

【大坂】 百人浜エリアは国立公園の一角であり、観光資源として期待されるが知名度が低いと感じている。今年度、百人浜オー

トキャンプ場の管理棟が改修され、多くの利用者が見込まれる。百人浜エリアに看板や案内板があるが、緑化事業を知ってもらうためにも「えりも砂漠緑化園」「百人浜フリンパーク」といった、新たな呼び名を公募としてはどうか。

【答弁】 百人浜は、平成2年に百人浜周辺の施設整備などを目的に「百人浜リゾートパーク構想」が完成し、各種の施設整備や体験プログラム・体験観光ツアーの受け入れなどを予定していたが、バブルの崩壊により計画は中止となった。

同年に開業した百人浜オートキャンプ場は、昨年度から運営を地域おこし協力隊員に委託し、徐々に利用者が増加していると



【大坂】 公募を実施した場合、名称の採用者に記念品の贈呈をする。

ところであり、最終的には通年営業し黒字化を目指している。緑化事業の地域を含めた百人浜エリアの名称の公募は、話題性やPR効果が期待できるほか、最終的には地域のブランド化につながると思われるので検討していきたい。

問 小・中学生の 大会遠征費の助成は

答 町の要綱等に基づき 助成している

【大坂】 今年度、中学校の野球部とビーチバレーが全国大会へ出場した。スポーツ・芸術を問わず、全国大会へ出場する場合、小・中学生の大会遠征費の助成はどのようになっているか。

【答弁】 学校の教育活動である部活動に対する全道・全国大会に係る助成は「えりも町立中学校部活動推進事業補助金交付要綱」に基づき、生徒と引率教員の宿泊費や交通費等、大会に係る必要経費を全額助成している。

また、学校の教育活動以外や個人的に参加した、全道・全国大会へ出場する選手に対しては「えりも町教育委員会スポーツ大会派遣補助金」がある。

愛知県で行われたビーチバレーボールの全国大会では、交付要綱に定めた補助基準により、出場した中学生とその保護者に対して、交通費と宿泊費を助成した。補助の割合は、スポーツ少年団が道外に出場の場合は全額、個人が出場の場合は5万円を上限に助成している。今般の物価高により宿泊費をはじめ様々な物の値段が上昇しているが、交付要綱を適宜見直しを図りながら、保護者の負担軽減を図っていききたい。



全国大会でみごと1勝あげた「えりも中学校野球部」(様似・浦河と合同チーム)



たかまつ けいひろ
高松亮裕議員

問 昆布おかまわり不足解消に マッチングアプリの開発を

答 費用対効果などを漁協と協議

一日あるいは数時間でも効率よく「働きたい人」と数時間だけでも「働いてほしい人」を結びつけるスキマバイトマッチングアプリの「えりも版」を開発できないか。

【答弁】 アプリがあれば、昆布漁に特化した情報を発信できるほか、漁の様子を画像や動画で伝えることができ、将来的に移住促進や関係人口の拡大につながる可能性がある。

一方、課題として、開発には数百万円の費用がかかり、費用対効果の検討、労働条件や報酬等を明確にする必要がある。

昆布漁は7月から9月にかけて集中的に人手が必要で、地域の労働力をどう運用するかが課題であり、マッチングアプリの開発・運営について、漁協など

と十分協議・検討する。

【高松】 農業や商工業などにも広げたり、草刈りや除雪など個人の依頼にも対応できる。昆布を経験してみたというキャンプ場利用者にもPRすることで、短時間で決して低くない報酬を得る機会を提供できると思うが。

【答弁】 他の産業でも活用できれば、人手不足の解消に非常に有効であり、キャンプ場や風の館などの観光施設でPRすることで、町外からの労働力確保も期待できると考える。



昆布を採取しなかった地区のおかまわりが、採取した地区の求人情報をアプリで見ても手伝うこともスムーズにできるのでは

問 エアコン設置に補助を

答 現時点で実施の考えはないが 引き続き情報収集に努める

【高松】 近年の異常ともいえる急激な気温上昇により、熱中症で緊急搬送される人が全国で大幅に増えている。当町も例外ではなく、エアコンを設置する住宅が増え、家庭になくてはならない家電になりつつある。

な出費となり、設置したくてもできない家庭もあるのではないかと。また、子どもや高齢者は熱中症のリスクが高いといわれる。

こうした状況から、生活保護世帯、住民税非課税世帯、児童扶養手当受給世帯等へのエアコン設置補助金を検討する必要があるのではないかと。

【答弁】 エアコン購入に対する補助は、真夏日や猛暑日となる日が増えてくるオホーツクや十勝管内など道内8自治体で行われている。全国的に見て冷涼といえる当町では、現段階では実施する考えはない。

ただし、熱中症対策は今後も住民向けの啓発を強化する必要があると考えている。



昨年建て替えた新浜団地はエアコンを設置できる構造になっている

全体的な動向や町内の状況について、引き続き情報の収集に努めていきたい。

【高松】 公営住宅や町営住宅に暮らす町民が、エアコンを設置したい場合は可能か。

【答弁】 公営住宅の壁に大きな穴をあけることは、建物の耐力性が低下する可能性があり、既設の換気口を利用し、原状回復できる範囲で設置を認めている。

全員協議会

令和7年9月8日

※紙面の都合により
抜粋して掲載

認定こども園について

施設類型を【保育所型】で決定

令和9年4月開設の「えりも町認定こども園」（以下、こども園）については、他町の施設視察及び町立保育所、光の園幼稚園職員による協議・調整等を踏まえ、令和7年7月29日に開催した「えりも町認定こども園移行検討本部会議」において、施設類型を【保育所型】にすることで決定した。保育所型とした大きな理由は「保育所に通うお子さんが多いこと」「認定こども園の園長及び職員になる資格のハードルが低いこと」である。

施設は現在の【中央保育所】を活用

えりも町の実態にあったこども園の円滑な開設に向け、今後、保育所及び幼稚園職員をはじめとする関係者で構成する「運営・体制検討部会」「教育・保育要領検討部会」が主体となり詳細を詰めていくほか、保護者説明会や幼児交流等を実施していく。

施設は、当面は現在の【中央保育所】を活用することとし、策定を進めている第7期えりも町総合計画との整合性を踏まえながら、新築移転を検討していく。

中央保育所は津波浸水域であるため、万が一の避難の備え、保育バスと運転手を常時配置できないか検討している。

《質 疑》

問 えりも岬保育所と庶野保育所の今後は。

答 保護者や地域からは「残せるうちは残してほしい」という意見もあるが、保育士不足等を考慮すると統合も検討していかなければならない状況にもある。



認定こども園として活用する「中央保育所」

えりも町観光振興計画策定について

目 的 基幹産業である漁業や襟裳岬などの豊かな自然景観といった観光資源を最大限に活用し、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図ること。

必 要 性 人口減少と地域経済の停滞が進行する中、観光を新たな地域振興の柱として確立することが急務となっている。効果的な計画を策定するには、専門知見を持つ外部事業者への委託が必要と判断した。本件は今後の観光地域づくり法人（DMO）の設立・運営とも連携する、町の観光策定の根幹となる事業である。

事業内容

- 1、観光の現状分析、基礎調査、課題整理
- 2、町内事業者等を対象としたワークショップの実施
- 3、計画策定委員会の運営支援
- 4、観光振興計画案の作成及び最終化

予 算 委託料 6,803,500円（税込） ※人件費、旅費交通費、宿泊費を含む

期待効果

具体的行動計画の策定⇒実効性のある計画が策定され、今後の観光関連事業の指針となる

関係性の合意形成 ⇒行政、事業者、町民が一体となった観光推進の機運を醸成する

外部資金獲得の基礎 ⇒計画は国や道の補助金等を申請する際の重要な根拠資料となる

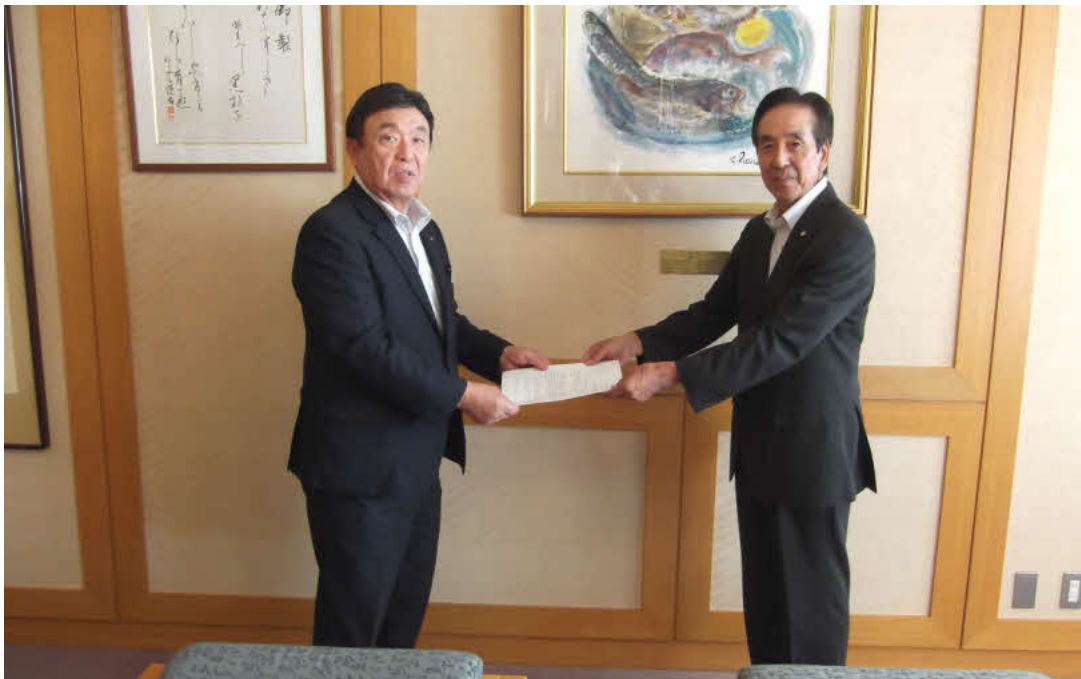
《質 疑》

問 外部事業者に委託するとあるが決定方法は。

答 プロポーザルを実施して事業者を決定したいと考えている。

プロポーザルとは：発注先を選ぶため、複数の企業から企画を提案してもらい、その中から最も優れた提案を行った企業を選定する方式

議会として次年度の「政策要望書」をまちへ提出



大西町長に要望書を手渡す高松議長
(9月18日)

1 養殖事業の取り組みを

地球温暖化による海水温の急激な上昇は、赤潮をはじめ様々な海洋変化を招き、当町の基幹産業である漁業に深刻な影響を及ぼす可能性がある。地域経済の要となる漁業の将来的安定・振興のためにも、養殖事業の実証実験を積極的に行い、事業化に向けた取り組みを進めることを求める。

2 学校へのエアコンの早期設置を

暑さ対策として、各校に冷風扇を導入しているものの、近年の暑さや北海道らしからぬ湿度の高さを考えると、それだけでは対処できない状況にある。

児童生徒が快適に学習できる環境を確保するため、早急なエアコン設置を求める。

3 学校トイレの洋式化を

当町の学校トイレは、全道と比べて洋式化が十分に進んでいないため、各校のトイレを洋式化していくことが必要である。特にえりも高校は町内で唯一の福祉避難所に指定されており、高齢者や身体が不自由な方も利用する可能性が高いことから、優先的かつ早急に整備することを求める。

4 交通弱者対策を

J Rバスやハイヤーは、便数や料金などの面から気軽に利用できるとはいい難いため、町民が利用しやすい新たな交通手段の調査・研究を。（昨年も要望しているが、同じ内容で改めて要望）

5 漁業担い手支援補助金の見直しを

漁業担い手支援補助金の利用に当たり、漁業者から補助対象範囲の拡大を求める声が上がっているため、利用者側に立った制度の見直しを。（昨年も要望しているが、同じ内容で改めて要望）

この人に聞く

えりも町職員 保健師

きたむら 北村 穂乃佳さん (25)



2000年、えりも町に生まれる。えりも高校を卒業後、札幌市立大学に入学し保健師免許を取得。大学卒業後は他町で保健師として経験を積み、今年7月よりえりも町保健福祉課にて保健師として活躍中。

▼えりも町に就職を決めた理由は

保健師を目指すきっかけとなったえりも町での生活に戻り、初心に立ち返って自分の目標や大切にしたいことを見つめ直したいと思いました。

実際に働いてみると、地元でも知らないことが多く、

その奥深さを実感しました。町の規模に関係なく、皆さんがさまざまな知識や経験を持っていて関わるのがとても楽しいです。

▼帰郷して感じたことは

一人ひとりが明るく元気で、小さな町ながらお祭りのような活気があり、それがえりも町の強みだと思います。

年齢や立場に関係なく意見を出し合い、町をより良くしていけたらと思います。私も住民の一員として町を盛り上げていきたいです。

▼現在の仕事内容は

生活支援や健康確認が必須な方への訪問、リハビリ同行など地域包括支援センターの業務を中心に、乳幼児健診や成人保健にも携わっています。また「えりもカフェ」「ふまねっと」「百歳体操」など地域の集いにも参加し、住民の皆さんと楽しく交流しています。

▼趣味や好きなことは

旅行、登山、ランニング、料理が好きです。散歩などで少しでも体を動かすと気分転換になり、興味のあることに挑戦することで仕事のモチベーションにもつながっています。「やりたいことは今のうち！」と心に決め行動しています。

▼これからの目標は

上司や住民の皆さんから学び、保健師として一人立ちすることが目標です。笑顔で活発な人になれるよう、いろんなことに挑戦し、その経験やエピソードを皆さんと共有して笑いあえれば

いいなと思っています。

▼えりも町民へ一言

訪問先での笑顔が私のエネルギーです。皆さんが元気で自分らしく暮らせるよう、保健師としてサポートしていきます。これからもよろしく願います。



「えりもカフェ」の来場者に笑顔で接する北村さん

議員雑感

太平洋戦争終結から80年の今年、憲政史上初めての女性総理が誕生し、国政は大きく動きました。

国民本位の国政運営に全力を傾け、そして、一刻も早い物価高対策、エネルギー対策を大いに期待したいところです。

穏やかな年明けとなった2025年も残り2か月となりました。

1年経つのが本当に早いと思っているのは筆者だけではないと思います。

果たして来年はどのような年になるのか…。

来るべき2026年が皆様にとって幸多く、笑顔のあふれる世の中になることを心から願っています。

(嵯峨)

広報広聴常任委員会

委員長 竹内 孝文
副委員長 上野 陽司
委員 大坂 庄吉
中野 公浩
嵯峨 直樹
大場 文裕

議会の動き

9月8日	全員協議会 議会改革委員会 産業民生常任委員会
10日	議会運営委員会
18日	全員協議会 第5回定例会 決算特別委員会
24日	総務文教常任委員会
26日	えりも中学校躍動祭(議長)
10月5日	えりも海と山の幸フェスティバル(議長)
6日	広報広聴常任委員会(20日)
10日	日高地区森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡会役員会・総会(日高町)
15日	二常任委員会合同所管事務調査
16日	第6回臨時会
23日	産業民生常任委員会行政視察
27日	イキイキ森林づくり
30日	総務文教常任委員会行政視察